



議会だより

令和4年

8月

1日号

おおたわら市

〈題 字〉

大田原高等学校 “鈴木湊翔さん”

No. 206

古紙配合率100%再生紙使用



介乎生息地 おかんじち川

市議会では**新型コロナウイルス感染症対策**を徹底して、定例会を行っております。



6月定例会の主な対策内容

- マスクを着用(発言時も着用する)。
- 傍聴の自粛(インターネット中継の視聴を推奨)。
- 一般質問の質問時間を10分短縮。
- 議場内の窓や扉は換気のため開けたままにする。
- 熱中症対策として、マスク自体の工夫やフェイスシールド等の着用。休憩時間では水分の補給を行う。



令和4年
第2回

市議会定例会

相馬市長が所信表明

令和4年第2回市議会定例会（6月定例会）は、6月13日（月）から22日（水）までの10日間を会期として開かれました。

まず、相馬市長の就任後初めての議会となることから、就任の挨拶と市政に対する所信を述べられ、財政健全化等5項目を掲げ市政運営方針を表明されました。

次に本定例会に市長から提出された案件は、継続費繰越計算報告等及び一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況などの報告7件、専決処分事項の承認案件5件、人事や条例改正などの案件13件、追加案件1件。また、追加議員案2件が提出され、計28件の審査を行いました。主な議案としては、副市長の選

任及び教育長の任命の同意を求めること。大田原市附属機関設置条例等の一部改正などでした。また、一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出予算、債務負担行為の補正で「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等の新型コロナウイルス感染症対応の経費及び当初予算成立後の諸事情に対する経費について補正を講じるものです。補正額は、1億5906万円の増額となり、歳入歳出の総額311億8196万円となりました。議案は、15件が原案通り可決、1件が否決となりました。詳細については下記をご覧ください。一般質問は、3日間で12人の議員が行いました。詳細については5ページ以降をご覧ください。

令和4年 第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
選挙第1号	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	相馬憲一
報告第4号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第5号	令和3年度大田原市継続費繰越計算報告について	報告受理
報告第6号	令和3年度大田原市繰越明許費繰越計算報告について	報告受理
報告第7号	令和3年度大田原市事故繰越し繰越計算報告について	報告受理
報告第8号	令和3年度大田原市水道事業会計予算繰越計算報告について	報告受理
報告第9号	令和3年度大田原市水道事業会計継続費精算報告について	報告受理
報告第10号	一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況について	報告受理
議案第35号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(令和3年度大田原市一般会計補正予算(第12号))	承認(全会一致)
議案第36号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(令和3年度大田原市一般会計補正予算(第13号))	承認(全会一致)
議案第37号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(令和4年度大田原市一般会計補正予算(第1号))	承認(全会一致)
議案第38号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(大田原市税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認(全会一致)
議案第39号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認(全会一致)
議案第40号	大田原市副市長の選任につき同意を求めることについて	同意(全会一致)
議案第41号	大田原市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意(全会一致)

令和4年 第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
議案第42号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	推薦することに異議なし(全会一致)
議案第43号	大田原市附属機関設置条例及び大田原市特別職の職員等で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決(賛成少数)
議案第44号	大田原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第45号	大田原市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第46号	物品の取得について	原案可決(全会一致)
議案第47号	物品の取得について	原案可決(全会一致)
議案第48号	物品の取得について	原案可決(全会一致)
議案第49号	財産の処分について	原案可決(全会一致)
議案第50号	財産の処分について	原案可決(全会一致)
議案第51号	令和4年度大田原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第52号	令和4年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
追加議案第1号	令和4年度大田原市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議員案第4号	大田原市議会改革活性化特別委員会の設置について	原案可決(全会一致)
議員案第5号	水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針に関する意見書の提出について	原案可決(全会一致)

大田原市議会改革活性化特別委員会

6月定例会において、大田原市議会改革活性化特別委員会を設置しました。

設置に当たっては、世の中を一変させてしまった新型コロナウイルスのような感染症が発生した場合や、近年激甚化する災害に対し議会を強化する必要があることと。また、新型コロナウイルスや災害発生時の緊急対応や政府方針に対応するための専決処分や、臨時会開催で対応する地方自治体や地方議会が増え、通年議会制度を導入検討する地方議会が県内外で増加しているといった状況がありました。

以上のことから、本市議会としましてはICTの活用と議会BCP(業務継続計画)の策定、さらに通年議会制度導入を検討することを目的とした特別委員会を設置し、調査・検討してまいります。

- 【委員長】 大豆生田 春美
- 【副委員長】 櫻井 潤一郎
- 【委員】 前田 則隆、大塚 正義、菊地 英樹、深澤 正夫、川瀬 雅之、高中 重嗣 (8名)

令和4年 第2回大田原市議会定例会における表決状況一覧

議案	伊賀純	秋山幸子	斎藤光浩	新巻満雄	前田則隆	大塚正義	菊地英樹	深澤正夫	櫻井潤一郎	滝田一郎	大豆生田春美	中川雅之	前野良三	高瀬重嗣	菊池久光	君島孝明	引地達雄	高崎和夫	小林正勝
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第43号	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-	×	×	×
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
追加議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議員案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 ※君島孝明議長は採決に原則加わりません

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<https://www.city.ohawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎0287-23-8714

一般質問 市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、広報広聴委員会が校正し掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

※議員名横のQRコードから、質問動画を閲覧できます。

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	菊池 久光	①仮称・北関東北部横断道路整備について ②歴史資源・地域資源の活かし方について ③市有財産売却媒介制度創設について	7	伊賀 純	①新市長の市政運営の基本方針について ②持続可能な公共交通について ③市民との情報共有について
2	高瀬 重嗣	①大田原市職員の資質と能力の向上と、 そのための環境作りについて ②相馬市長の市政に対する基本方針について	8	前田 則隆	①重度心身障害者医療費助成事業について ②農業の使用による被害・事故の防止について
3	大豆生田春美	①学校給食費への対応について ②低出生体重児対策について ③男性の育休取得について	9	深澤 正夫	①市長公約「子どもの未来を守る」 ことについて ②市長公約「観光地づくり」について
4	大塚 正義	①新型コロナワクチン接種の 状況について ②市長の公約について ③那須合同庁舎建設に係る市民への 影響について	10	菊地 英樹	①行政のデジタルサービスについて
5	秋山 幸子	①市長公約の市民への5つのお約束の 中で3つ目「子どもの未来を守る」 ことについて ②国民健康保険税の「均等割」5割軽減 措置の対象年齢の引き上げについて	11	斎藤 光浩	①おくやみコーナーの設置について ②はり灸・マッサージ施術費の助成制度 について ③市長公約「大田原市民の生命(いのち) を守る」について ④太陽光発電事業終了後の太陽光パネル の廃棄について
6	滝田 一郎	①高齢者の福祉について ②観光資源を活かした観光地づくりと 地域おこしについて ③産業振興及び生活基盤確保のための 辺地対策事業債の積極的導入について ④先生方のやりがいと健康を両立させ 教育力を発揮させる働き方改革について	12	中川 雅之	①大田原屋台まつりについて

※太字が掲載されている項目

市有財産売却媒介
制度の創設について



菊池 久光 議員



質問…市の所有する財産の処分に関し、新たな手法として市有財産売却媒介制度を創設し、民間活力を導入すべきかと考えます。市有財産売却媒介制度創設の進捗状況について伺います。

答弁…公売物件の売れ残りが課題となっていたことに対し、令和3年12月の市議会定例会の一般質問において菊池久光議員から提案をいただき、制度創設に

向けて検討してきました。本制度の創設については、これまでに先進事例の調査を行ってきたところですが、どの自治体においても、基本的には宅地建物取引業界団体等と協定を締結した上で媒介を依頼し、売却した際の成功報酬を設定しているようです。本市にとりましても有効な制度と認識していますことから、今後関係団体などの詳細

な協議を進めまして、本年度の市有財産公売実施に合わせて運用できるよう、現在制度創設を進めているところでございます。

質問…いつ頃になりますか。

答弁…今回の制度については7月に案をつくりまして、その後協議、実施要領などを策定し、12月には制度を創設したいと考えています。

一般質問



高瀬 重嗣 議員



相馬市長の市政に
対する基本方針について

質問…第三者委員会というのは、内部では対処、根絶できない、自浄能力に欠ける組織が必要とするものであって、本市がそれに当たるとは到底考えられない。市長はどの場面で用いるのか伺います。

答弁…市の単独予算や、支出を多く出しているものについて検証してもらおうということです。

質問…地方自治の根幹である市

の予算、補助金の使い方や第三者に任せるといえるのは根本から間違っていないか伺います。

答弁…絞り込んだものを財政健全化検証委員会に見ていただきたいと考えています。

質問…事業仕分け実施委員会の活用ではいけないか伺います。

答弁…事業仕分けではなく、事業に対して踏み込んだ答を見出して市政に生かしていきたいと

考えています。

質問…無駄と判断した事業名を具体的に伺います。

答弁…具体的に想定しておりません。

質問…想定していないのに広報に無駄な事業を見直すと書いたのか伺います。

答弁…市民から寄せられた声の中にあったので、具体的な公約に掲げたものではありません。

低出生体重児対策
について



大豆生田 春美 議員



質問…「リトルベビーハンドブック」を作成すべきと思いますが、考えを伺います。

答弁…小さく生まれた赤ちゃんの記録に対応できる取組として、全国的にリトルベビーハンドブックを作成している自治体が増えてきています。リトルベビーハンドブックでは、例えば体重の目盛のスタートはゼロからであり、また先輩保護者達か

らのメッセージや低出生体重児に即した育児情報も掲載されるなど、様々な工夫がなされ、母子健康手帳を補完するものです。市としても、小さく生まれた赤ちゃんとその家族の気持ちに寄り添った、親切かつ大変有効な方法であると認識しています。

質問…市で作ることは考えていないのか伺います。
答弁…手にしたご家族にご満足

いただけるような情報、専門性の高い手帳を作成していくということでは、市単独での作成は少し難しいと考えています。

質問…本県ではまだ作成されていないため、リトルベビーハンドブックを作成して下さるよう要望して頂けるか伺います。
答弁…県で作って頂けるように、是非要望してまいります。

一般質問



大塚 正義 議員



那須合同庁舎建設に係る市民への影響について

質問…令和5年1月竣工予定の新那須合同庁舎近隣の通行量増加に伴い、周辺道路は、小中高の通学路でもあり、千葉県八街市の事故事例もあることから、事故防止の観点からも竣工前に整備完了が望まれるところで、後手に回らぬよう、尚且つ「安全、安心な大田原」のため調査及び施工が必要と思われます。そこで周辺歩道及び信号機の整備等、

市の対応について伺います。

答弁…通行量が増大することで、特に小学生の通学路の安全確保に努めることが重要であります。合同庁舎周辺の市道については、既に歩道も整備され、歩車道が区分されていない道路においてはグリーンベルトを設置しています。また、住宅地内の生活道路については、信号機の設置や通行規制をするなどの対策は必

要と思われます。今後については、大田原市通学路交通安全プログラムに基づき、各学校からの依頼を募った上で、地域の方や学校をはじめ、道路管理者、警察などの関係機関と連携した通学路の交通安全確保に係る合同点検により、通学路の安全対策に努めてまいります。

市長公約の市民への
5つの約束の中で3つ目
「子どもの未来を守る」
ことについて



秋山 幸子 議員



質問…市単独補助金の対象として、市長は現在5割補助の給食費補助は取りやめる方向性を示されました。憲法第26条第2項「義務教育は無償とする」の原則に立ち、学校給食の無償化に戻す考えがあるか伺います。

答弁…令和4年度は令和3年度と同様に5割程度の補助を実施しております。学校給食費の保護者負担をできるだけ軽減した

いとの考えは理解しており、学校給食法第11条第2項において、食材料費は保護者が負担するという原則も踏まえ、私の公約の一つであります財政の健全化の中で総合的に判断してまいります。

質問…愛知県津島市が、小・中学校、保育所、幼稚園、認定こども園の給食の完全無償化を発表し、財源としたのが地方創生

臨時交付金です。政府が総合緊急対策に、地方創成臨時交付金で学校給食費の負担軽減に向けた自治体の取組を支援する方向が盛り込まれましたがいかがか伺います。

答弁…国から提示がありまして、ただいま給食費とか子育て世帯に対して事業案を調整している所です。調整つき次第ご提案させていただきます。

一般質問



滝田 一郎 議員



産業振興及び生活基盤確保
のための辺地対策事業債の
積極的導入について

質問…(1)本市の辺地総合整備計画の現状について伺います。
(2)元利償還金の80%が普通地方交付税の算定に用いる基準財政需要額に算入される有利な本事業を積極的に導入し、活用する考えがあるか伺います。

答弁…関連がありますので、一括してお答えします。辺地とは市役所、学校、郵便局、医療機関、バス停留所までの距離が遠隔で

あり、交通条件にも恵まれず、他の地域と比較して生活条件に不均衡が生じている地域をいいます。このような条件を毎年度点数化し、辺地に該当する地域を国に報告をしています。令和3年度末の条件では、黒羽地区に11地区、大田原地区に2地区、

合わせて13地区となりました。令和4年度当初予算では、須賀川地区では清水橋橋梁修繕工事、

大神地区では市道大神福原線道路改良事業、藤沢地区では市道大田原喜連川線道路改良事業を計上しています。次年度以降ににおいても、公共施設の整備を実施しようとする地区が辺地の条件を満たす場合には総合整備計画を策定し、辺地対策事業債を積極的に活用してまいります。

持続可能な公共交通について



伊賀 純 議員



質問…デマンド交通の現状と今後の在り方について伺います。

答弁…開始から9年が経過し、湯津上、黒羽、親園、野崎、佐久山で運行しており、令和3年度の実績は、25012人が利用し、補助金として4834万4033円を交付しています。

質問…2013年からこれまで、車両を何台購入し金額がどのくらい投入されているのか、また、

車両の名義はどこかを伺います。

答弁…8台のワゴン車を約2900万円で購入し、名義は、山和タクシーとなっております。

質問…市営バス、外出支援事業で使用されている車両の名義の扱いを伺います。

答弁…どちらの車両も市の名義になっていきます。

質問…市の事業として考えた時、市の名義とし無償貸与が基本と

思うが、考えを伺います。

答弁…デマンド交通には事業計画があり、運行の内容には車両、整備費も全て含めた内容となっていて、車両が事業者の名義になっていることについては、誤っているとは考えていません。

質問…大田原と東京の直通バスを検討いただけませんか。

答弁…運営業者に打診をした上で考えられればと思います。

一般質問



前田 則隆 議員



重度心身障害者医療費助成事業について

質問…障害者団体や家族からの現物給付の要望が出ており、障害者やその家族の手續の不便さを解消し、生活の安定と経済的負担の軽減を図るための医療機関での窓口で支払いが不要な現物給付について伺います。

答弁…重度心身障害者が医療機関を受診した際の医療費の一部を助成し、障害者の保健の向上と福祉の増進を図るものです。

令和3年度の助成者数は1348人であり、助成額は9369万9246円であります。現物給付することにより県の重度心身障害者医療費補助金が2分の1から4分の1に減額されるペナルティーが生じ、財政面で大きな負担となっております。

本市としても、重度心身障害者の利便性の向上を図る観点からも現物給付が望ましいものと考

えていますので、令和4年度から導入された精神障害者保健福祉手帳1級所持者への助成拡大に合わせ、県に対し現物給付にペナルティーを科さないよう要望しているところです。県からは、まず対象者の拡大を優先し、その上で他の助成制度と併せ検討していくと回答がありました。

市長公約「子どもの未来を守る」ことについて



深澤 正夫 議員



質問…学校経営システムを構築するための具体的な取組について伺います。

答弁…国の基準では、一学年で平均二学級が確保出来ない小学校は小規模校となり、市内小学校19校中、15校が該当しています。全国的に進む少子化は本市においても例外ではありません。市内小中学校の児童生徒数減少は明らかで、複式学級も増

加傾向にあります。小規模校だからといって、教育環境が十分であると思っていません。また、小規模な小学校であっても、

できる限り、存続させたいという思いがあります。小学校は、地域コミュニティのシンボリックな存在であるとともに、地域活力の拠点となる大きな柱として重要な役割を担っていると考えているからです。学校は、子ども

もたちにとって大切な教育の場であり、社会性や人間力を成長させる場であることも承知しています。そして、その効果を高めるためには、ある程度の規模、集団の形成も必要であると考えています。その環境を構築する方策の一つとして、本市では、平成11年度に小規模特任校制度

を設けています。

一般質問



菊地 英樹 議員



行政のデジタルサービスについて

質問…本市における地方自治体や企業が主体となった特定エリアでのローカル5Gネットワーク計画について、どのような考えなのか伺います。

答弁…第3次大田原市地域ICT総合推進計画の取組項目である5Gを軸としたインフラ再構築の調査については、地域への情報提供の推進をするために、広域的な5Gネットワークの利

活用を想定したもので、現在も継続して調査中です。ローカル5Gネットワークは、専用の機器を使用して、限定された範囲での利活用に使われ、主に工場や建設現場、農業において、

機械の遠隔操作などに有効活用されているもので、携帯電話会社が整備する5Gネットワークとは周波数が異なるため、一般的に購入できるスマートフォン

では利用することができません。他の自治体の取組事例も、現時点では自動運転などの実証実験の範囲となっています。本市においても、今年度策定を予定している第4次大田原市地域ICT総合推進計画に5G通信の項目を盛り込み、引き続き調査研究をしてまいりたいと考えています。

です。

太陽光発電事業終了
後の太陽光パネルの
廃棄について



齋藤 光浩 議員



質問…太陽光パネルには埋立処分など適さない鉛、カドミウム、ヒ素などの有害物質が含まれ、成分によって処理の仕方が変わると言われています。適切な処分、処理ができるよう、国、県と連携を取りながら研究、指導をいただけないか、本市の考えを伺います。

レン、カドミウム等の有害物質が含まれているものもあるため、産業廃棄物として指定され、処理されるべきものです。適正処理が可能な業者に処分を依頼することが必要となります。また、リユース、リサイクルが可能な太陽光パネルについては、環境省が公表している太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン、こちらに基づ

き適切に処理するよう指導したいと考えています。また、環境省が太陽光パネルのリサイクルを義務化する検討に入ったというような報道も聞いています。今後情報収集をするとともに、国や県と連携して、発電事業者に適切な処理、処分を周知し、指導していきたいと考えています。

一般質問



中川 雅之 議員



大田原屋台まつり
について

質問…令和4年度3月議会の前市長答弁について伺います。
答弁…屋台まつりの予算350万円から50万円に削減した理由について前市長は、コロナ感染症が収束した所までいかない中、行政は危険性があるものに対し、予算を制御し、中間でコロナ感染症が収まり、祭りが出来る状況になった時には、補正措置でも出来るとし、早く感染症を止

める、それが一番の政治的役割と思ひ、職員の皆様とも相談した結果であると答弁しました。
質問…私も予算審査・分科会委員長の立場でコロナ拡大の状況調査を行いました。小中学校では、学校・学年・学級閉鎖、保育園や幼稚園では休園で、卒業式や入学式も行われるのか心配されている状況、高齢者施設や介護施設ではクラスターが多く

発生、医師会の方々からは、今のままでは医療崩壊にも繋がるとし、祭りの実施は止めてほしいと切実な声が非常に多くありました。市長として、早めの対応が必要と思ひが伺います。
答弁…感染拡大は防いでいかなければならない。県の指針を厳守し、基本的な事項をしっかりと守り開催していただきたいと考えています。



水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針に関する意見書

政府は、主食用米の転作助成の柱である水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直しにおいて、令和4年産から8年産の5年間で一度も水張りが行われない農地、いわゆる米を作付けない農地は交付対象から外す方針を示した。

畦畔や水路の不備などで水張りが出来ない農地は、現行制度においても交付対象外としており、転換作物が固定化している水田の畑地化を促すとともに、水稲と麦など転換作物とのブロックローテーション体系の再構築を促すための措置としているが、あまりにも唐突な見直し方針の提示に、生産現場では戸惑いと不安が広がっている。

水田農業を基本とする本市では、昭和40年代半ばから始まった減反政策の下、水稲作を基幹としながらも地域の特性を生かした作付け転換を推進し、米の需給安定による農家所得の確保、農業生産基盤の強化による生産体制の効率化等に努めてきたところである。

交付対象水田の見直しは、依然として緩和傾向にある米の需給のみならず、転換作物の需給や、担い手への農地の利用集積、中山間地域等の農地の荒廃の加速など影響は多方面に及び、担い手の営農意欲への影響が何より心配される。

さらに、交付金の対象とならない水田が発生することにより耕作放棄地の増大につながるなど、本市農業の持続的発展に深刻な影響が懸念される。

よって、当市議会は国に対し下記事項について強く要望する。

記

「水田活用の直接支払交付金」の見直しは行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年6月22日

栃木県大田原市議会議長

君島孝明



【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願(陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)



《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者
住所

氏名
大田原市議会議長あて



議 会 日 誌

4月



6日○広報広聴委員会
15日○会派代表者会議
○議会運営委員会
○全員協議会

27日○関東市議会議長会総会
及び新支部長会議

5月



12日○関東市議会議長会新旧
正副会長会議

16日○会派代表者会議
○議会運営委員会
○全員協議会
2725日○全国市議会議長会総会
○会派代表者会議

6月



1日○県北五市議長会
6日○会派代表者会議
○議会運営委員会

13日○令和4年第2回市議会
定例会招集(本会議)

15日○本会議(一般質問)
○全員協議会(臨時)

16日○本会議(一般質問)
17日○本会議(一般質問)
20日○総務常任委員会

22日○民生文教常任委員会
○建設産業常任委員会
○議会運営委員会

22日○本会議(議決)
○議会改革活性化特別委
員会

30日○広報広聴委員会
○全員協議会
○議会改革活性化特別委
員会

議員議席番号及び議場内レイアウト図

上下水道課長	道路課長	農政課長	農業委員会事務局長	教育総務課長
監査委員事務局長	建設水道部長	産業振興部長	教育部長	教育長

事務局長	議長
------	----

健康政策課長	国保年金課長	黒羽支所長	総務課長	
保健福祉部長	市民生活部長	会計管理者	政策推進課長	財政課長
市長	副市长	副市长	総合政策部長	経営管理部長

演壇

質問者席

1番 伊賀 純 無会派	2番 秋山幸子 無会派	3番 斎藤光浩 公明自民クラブ
11番 大豆生田春美 公明自民クラブ	12番 中川雅之 公明自民クラブ	

4番 新巻満雄 大田原自民クラブ	5番 前田則隆 大田原自民クラブ	6番 大塚正義 政友会	7番 菊地英樹 政友会	
13番 前野良三 大田原自民クラブ	14番 高瀬重嗣 政友会	15番 菊池久光 政友会	16番 君島孝明 政友会	17番 引地達雄 政友会

8番 深澤正夫 政友会	9番 櫻井潤一郎 政友会	10番 滝田一郎 政友会
18番 高崎和夫 政友会	19番 小林正勝 政友会	

傍 聴 席

4月~6月

協議会及び委員会の内容

全員協議会

◆4月15日 (報告事項)

- 1 ウクライナから避難された方々に対する支援について
- 2 デジタル田園都市国家構想推進交付金事業の交付決定について
- 3 請願・陳情採択事件処理状況について
- 4 令和3年度情報公開・個人情報保護開示の状況について
- 5 議案書及び議案書補助資料において使用する字体(フォント)の変更及び議案書補助資料における新旧対照表の色別表示の廃止について
- 6 押印見直しの取組結果について
- 7 令和3年度大田原市一般会計補正予算第12号及び令和4年度大田原市一般会計補正予算第1号について
- 8 特定農業用ため池及び防災重点農業用ため池の指定解除について
- 9 議会運営委員会報告について
- 10 議会報告会について

◆5月16日 (報告事項)

- 1 出資法人に関する経営状況報告について
- 2 須賀川財産区及び市有林における財産(立木)の処分について
- 3 令和3年度大田原市一般会計補正予算第13号について
- 4 大田原市災害廃棄物処理計画の策定について
- 5 6月定例会の取扱いについて

(協議事項)

- 1 栃木県後期高齢者医療広域連合

- 2 議会議員の任期満了に伴う選挙の実施について
- 2 市民5分間演説の休止継続(再開)について

◆6月13日 (臨時) (協議事項)

- 1 特別委員会の設置について
- 2 意見書の提出について

◆6月22日 (臨時) (報告事項)

- 1 令和4年度大田原市一般会計補正予算(第3号)について

(協議事項)

- 1 大田原市議会改革活性化特別委員会の設置について
- 2 水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針に関する意見書の提出について

◆6月22日 (報告事項)

- 1 令和4年度市政懇談会の開催について

総務常任委員会

- 1 ◆6月20日 付託議案の審査

民生文教常任委員会

- 1 ◆6月20日 付託議案の審査

建設産業常任委員会

- 1 ◆6月20日 付託議案の審査

議会運営委員会

◆4月15日

- 1 議場内執行部席の変更について
- 2 令和4年度内の定例会日程(予定表)の配付について
- 3 令和4年度全員協議会(予定表)の配付について
- 4 行政視察の取扱いについて

◆5月16日

- 1 6月定例会の取扱いについて
- 2 市長就任時のあいさつについて
- 3 栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の任期満了に伴う選挙の実施について
- 4 市民5分間演説の休止継続(再開)について

◆6月6日

- 1 令和4年第2回定例会の招集について

◆6月22日

- 1 令和4年度大田原市一般会計補正予算(第3号)について
- 2 大田原市議会改革活性化特別委員会の設置について
- 3 水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針に関する意見書の提出について

議会改革活性化特別委員会

- 1 ◆6月22日 委員長の互選について
- 2 副委員長の互選について
- 1 ◆6月22日 今後の計画について

広報広聴委員会

- 1 ◆4月6日 議会だより5月号について
- 1 ◆6月30日 議会だより8月号について

永年在職議員の表彰

全国市議会議長会より永年在職議員の表彰があり、第2回市議会定例会にて表彰伝達式が行われました。(10年表彰)

- 大豆生田 春美 議員
- 菊池 久光 議員
- 君島 孝明 議員
- 高瀬 重嗣 議員
- 滝田 一郎 議員
- 前野 良三 議員
- 星 雅人 前議員※

※星 雅人前議員へは、別途伝達を行いました。

暑中お見舞い申し上げます

公職の候補者等が選挙区内の方々に対して、金銭、物品その他の財産上の利益供与または交付は公職選挙法に抵触しますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

大田原市議会議員一同

令和4年9月定例会 開催のお知らせ

市議会HPは
こちらから

会期
(予定)

9月5日(月)~9月20日(火)



※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

市民5分間演説のお知らせ

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しております。コロナ禍による状況変化にともない、実施、休止を判断しておりますので、詳細はホームページにてご確認ください。

各委員会の活動

総務常任委員会

委員長報告



総務常任委員会の様子

民生文教常任委員会

委員長報告



民生文教常任委員会の様子

建設産業常任委員会

委員長報告



建設産業常任委員会の様子

募金活動報告

大田原市議会では、4月24日は東武大田原店、ヨークベニマル大田原店、たいらや大田原店にて、4月25日から5月13日は議会事務局窓口にて、ウクライナ人道危機救援募金活動を行いました。

募金総額は**433,748円**となり、全額を日本赤十字社にお届けしました。



多くの皆さまの協力を本当にありがとうございました。

